

新年のご挨拶

粕谷会 会長 安藤 正一

明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、粕谷会の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

私が本会の会長に就任してからも、粕谷会の会員の皆様には多方面にわたりお世話になりまして重ね重ねお礼申し上げますとともに、粕谷会の更なる活性化とより良い地域社会の実現のために取り組んでまいりますので、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、元旦の夕方、石川県能登地域を震源とする震度7の地震は、倒壊した無数の家屋、大火に襲われ焼け野原となった朝市、さらに多くの人命を失うなど甚大な被害をもたらしております。

災害はいつ起きてもおかしくないのはわかっているものの、「正月になぜ」とおもわずにはおれません。まさに「災害は時を選ばず起こる」ことを深く知らされました。

被災地の皆様には、ただただ一日も早く普段どりの生活が戻りますよう祈るばかりです。

去年は、首都を襲った関東大震災から100年となる節目の年でした。

当時から街の構造は変わり、街全体が燃え上がるような危険性は減ったとされておりますが、地震災害後の日常生活をいち早く取り戻すためには、火災を防ぐことが今なお重要です。

このことから、1月28日(日)10時30分から、粕谷区民センターにおいて消火器による消火訓練を実施し、防災行動力の向上を図りたいと思います。是非参加くださいますようお願い申し上げます。

何度も押し寄せる新型コロナウイルスの波に、私たちは悩まされて続けてきましたが、昨年5月、季節性インフルエンザなどと同等の「5類」になりました。

5類移行後、手洗いや換気などの基本的な感染対策は個人の自主的な判断に委ねられました。

ただ自分や周囲を守るためには、引き続きしっかりとした状況に応じた感染対策は必要であると考えます。

こうした中であって、粕谷会の今日までの活動状況(令和5年中)の一部を見てみますと、

ドローンプログラミング教室、夏休みのラジオ体操、シニアスマホ教室、4年ぶりに開催した蘆花まつりでのスーパーボールすくい出店そして地域懇親を深めるためのバス視察などを実施いたしました。

このような活動に会員皆様が参加・協力いただくことにより、地域コミュニティを促進できる基盤づくりとなるものと考えます。

粕谷会は会員相互で助け合い「知り合い、ふれあい、支え合い」の理念に基づき、安全で安心な住まいよい粕谷のまちづくりを目指して参ります。結びに、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

令和6年 元旦